

# 令和2年度 牧之原市教育委員会

## 自己点検・自己評価報告書



牧之原市教育委員会

# 目 次

1	自己点検・評価の趣旨	…	1
2	点検・評価の対象及び方法	…	2
3	点検・評価を行う事業	…	3～5
4	牧之原市教育大綱	…	6～7
5	牧之原市教育委員会自己点検・評価シート	…	8～20
6	教育委員会活動等報告	…	21～24
7	総合評価	…	25～26
8	評価を受けて	…	27



## 1 自己点検・評価の趣旨

平成 19 年 6 月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され（平成 20 年 4 月 1 日施行）、教育委員会は、毎年、教育委員会の事務の管理及び執行の状況について、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図りながら、点検及び評価を行い、その結果を議会に提出するとともに、市民に公表することが義務付けられました。

その目的は、教育行政の執行状況を検証して、効果的な教育行政の推進に生かすことと、市民の皆様への説明責任を果たすことにあります。

教育理念「こころざしを持ち 夢あるひとづくり」の実現に向けて、令和 2 年度に実施した事業の内部点検及び評価を行い、さらにそれについて、教育に関する学識経験者（以下「学識経験者」という。）から御意見をいただき、その結果を報告書にまとめました。

### 〈参考〉地方教育行政の組織及び運営に関する法律

#### （教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 2 点検・評価の対象及び方法

### 1 点検・評価の対象

#### (1) 点検及び評価

牧之原市第2次総合計画基本計画の教育文化に関する政策に設定されている8つの「方向性」に位置づけられている事業について、点検・評価を行います。

#### (2) 報告

教育委員会の活動

### 2 評価対象期間

令和2年度

### 3 評価方法

教育委員会が「自己点検・評価シート」により、内部評価を実施するとともに、学識経験者の知見活用として静岡大学教育学部講師 島田桂吾氏に総合的な評価をいただきました。

自己点検・評価シートの様式は、市が総合計画等の進捗状況を確認、評価する際に使用している様式をできる限りそのまま使用し、市の評価と整合が図れるようにしています。



市民学習推進事業（中央セミナー）の様子



指定文化財修復保存事業費助成事業で剪定を行った掉月庵の夫婦榎（県指定天然記念物）

### 3 点検・評価を行う事業

総合計画とは、市が総合的かつ計画的にまちづくりを進めるために策定するもので、目指す将来の牧之原市の姿に向け、市の総力を上げて取り組む計画です。

第2次総合計画は、基本構想(理念)、基本計画(政策と施策)、実施計画(事業)の3層で構成されています。基本計画は、基本構想に示した理念に基づいて具体的な施策を展開するため、政策の体系や個別の施策の方向性を示すものです。現在の基本計画の期間は令和元年度から令和4年度までの4年間です。



#### 1 点検・評価を行う事業

総合計画の基本計画には、6政策の体系と25施策の方向性が示されています。教育委員会に係る施策は3つであり、施策の分類として8つの「方向性」が設定されています。今回の自己点検・自己評価は、これら8つの「方向性」に位置づけられた12の事業について、点検及び評価を行います。

#### (1) 総合計画政策2 教育文化 施策1 学びの意欲を育む学校教育

##### ① 確かな学力を身に付け、生きる力を育む教育

##### 【点検・評価する事業】

##### ア 英語力向上サポート事業

自ら英語に触れたい、使いたいと思うような場の設定や英語に慣れ親しむ環境をつくったり、外国人指導助手を活用したりすることで、児童生徒が外国の文化や生活などについて積極的に学ぶとともに、グローバル化するこれからの社会に対応し、生きていくために必要な資質やコミュニケーション能力を養う。

##### イ 理科支援員配置事業

より効果的にかつ効率的に理科授業を進めるために、授業の準備や片付け及び指導の補助を行い、児童の理科への興味関心を高めるとともに、学力向上につなげる。

##### ウ ICT活用推進事業

第2期教育振興基本計画における「ICTの積極的な活用をはじめと

する指導方法・指導体制の工夫改善を通じた協働型・双方向型の授業革新を推進する」の実現に向け、ICTの強みや特性を活かした授業を推進することで、未来を担う牧之原市の子どもたちに必要な資質・能力を育むことを目的とする。

## ② きめ細かな学校生活の支援

### 【点検・評価する事業】

#### ア 適応指導教室推進事業

不登校、いじめ、問題行動など、心に悩みや不安を抱える児童生徒及びその保護者を対象に、来室相談、電話相談、巡回相談などにより、その解決・解消を図るため、教育相談員、巡回相談員及び臨床心理士(非常勤)を配置し、それぞれの相談に対応する。様々な理由により、不登校の状況にある児童生徒に対して、在籍校への復帰と社会的自立に向けての支援をする。

## ③ 学校施設の改修と更新

### 【点検・評価する事業】

#### ア 学校再編事業

平成 31 年 3 月に策定された「望ましい教育環境のあり方に関する方針」に基づき、「通いたい・通わせたい」と思われる魅力的な小中一貫校をつくるため、学校再編計画を策定する。

策定のための検討については、教育委員会の諮問機関として、専門家や保護者等で構成する審議会を新たに設置する。なお、本計画は牧之原市公共施設マネジメント基本計画の個別計画となるものである。

#### イ コミュニティ・スクール推進事業

子どもたちに「次代を切り拓く力」を育むため、キャリア教育を軸とした小中一貫教育及び社会全体で子どもを育てる仕組みとしてのコミュニティ・スクールを進める。

地域学校協働活動と一体的なコミュニティ・スクールをつくるために研究・検討及び試行し、牧之原市に合ったコミュニティ・スクールを全校に設置し、活動を推進する。

#### ウ 小中一貫教育推進事業

平成 31 年 3 月に策定した「牧之原市望ましい教育環境のあり方に関する方針」に基づき、子どもたちの「次代を切り拓く力」を育むために、キャリア教育を軸とした義務教育 9 年間の系統立てた学びを実現する。

(2) 総合計画政策2 教育文化 施策2 豊かさを育む社会教育・芸術文化

① 社会教育活動の実施

【点検・評価する事業】

ア 市民学習推進事業

自ら生涯にわたり学習する社会の実現を目指し、各年代層に向けた多種多様な講座・教室を開催することで、子どもから高齢者に対して、幅広い学習の機会を提供し、生涯学習事業の推進を図る。また、文化団体の支援を行うことによつて市民の文化意識の高揚と芸術活動の活性化を図る。

② 図書館機能の充実

【点検・評価する事業】

ア 図書館管理運営事業

利用者のニーズにあった図書館運営を行うとともに、図書館に足を運ぶことができない市民に読書の機会をつくることで、読書の推進と普及を図る。

③ 芸術文化の体験

【点検・評価する事業】

ア 文化振興事業

市民の文化意識の高揚と芸術活動の活性化を図るため、相良総合センターい〜らホールで文化振興事業を行った市民団体に対して補助金を交付する。

④ 地域の歴史の継承

【点検・評価する事業】

ア 指定文化財修復保存事業費助成事業

郷土の貴重な財産である文化財を継承し、愛護する心を育てるため、指定文化財の所有者に対して、保存修復にかかる費用を補助する。

(3) 総合計画政策1 健康福祉 施策4 健康づくりの推進

① 運動による健康づくり

【点検・評価する事業】

ア 社会体育振興事業

健康増進計画及び牧之原市スポーツ推進計画に沿って、乳幼児期に対する事業展開、成年・中年・壮年期における運動環境の整備、高齢者の運動機能の維持・向上、新規スポーツ人口の獲得等の課題解決に向け、スポーツの普及啓発事業を行い、心と身体の健康づくりを目指す。

## 4 牧之原市教育大綱

### ■基本理念（目指す教育の根本となる考え方）

こころざしを持ち 夢ある人づくり

### ■教育の目標

- ◎気づき、考え、行動する人を育成します
- ◎確かな学力をつけ、次代を切り拓く力を育成します
- ◎人を思いやり、人との対話を大切に作る心を育成します
- ◎豊かさが実感できる教育を推進します
- ◎地域活動の充実を図ります

### ■教育の目標と基本方針

#### 気づき、考え、行動する人を育成します

- ◆目標を達成する喜びと感動を育む教育の推進  
目標を立て、努力して達成することにより、学びの喜びと感動を実感する教育を進めます。
- ◆健康な体と心を育成し、存在感と肯定感を持てる教育の推進  
身体の健康の向上に努めるとともに心の健康も充実させ、自他を大切にする思いを育て、自分に自信を持てる教育を目指します。
- ◆自ら学び、考え、判断して行動する力を養う  
ものごとの本質を見る目を養うとともに、自ら学び、自ら考え課題を解決する力をつけます。

#### 確かな学力をつけ、次代を切り拓く力を育成します

- ◆学びたいという意欲を育む教育の推進  
幼児期からの体験活動や学校における魅力ある授業づくりを進め、自ら進んで学びたいという気持ちと態度を育成します。
- ◆国際教育、英語(外国語)教育、理科教育の推進  
国際化する社会をたくましく生きていくために、多様な考えを受け入れる力やコミュニケーション力をつける学習を進めます。また、科学への興味や関心を深め、ものづくりの基礎となる理科教育の充実を図ります。
- ◆情報機器(ICT)を活用し、楽しみながら積極的に学ぶ教育の推進  
情報化が進む社会に対応し、情報の活用能力を高める教育を推進し、お互いを理解するためのツールとして情報機器の活用を進めます。
- ◆小中学校の再編による学ぶ環境の整備  
安心・安全で、時代に対応した、子どもたちが学びやすい教育環境を整えるため、



小中学校の規模と配置の適正化を図ります。

◆キャリア教育を軸とした小中一貫教育とコミュニティ・スクールの推進

小中一貫教育を進め、人間力の育成と個に応じた教育の充実を図ります。また、コミュニティ・スクールを導入し、社会全体で協働して子どもを育てる仕組みをつくります。

人を思いやり、人との対話を大切に作る心を育成します

◆人との出会いやふれあいを大切にし、お互いを認め尊重する

人とのふれあいを通して人の温かみや人を思いやる心を育み、互いの人格を認める心を育てます。

◆自立と共生の心を育み、生命を尊重する心を育む

自分を正しく見る目を養うとともに、家族や仲間を大切に作る心を養い、いじめをなくし命の大切さと生きる喜びを育みます。

豊かさが実感できる教育を推進します

◆地域の自然を愛し、大切に作る郷土愛を育む

豊かな自然の恩恵を通じて、郷土のよさを感じとり、住んでいるまちや人を愛する心を育てます。

◆本との出会いを大切に作る図書環境の充実

生きる力を育み、人生を豊かにする読書活動を推進します。本を好きになり、本を大切に作る心を養い、図書に携わる人の育成と支援活動を推進し、身近に読書が楽しめる環境を整えます。

◆文化芸術の振興とスポーツ活動の充実

心豊かで生きがいを持って暮らすため、文化芸術の振興と充実を図ります。スポーツに親しむ環境を整え、スポーツ活動を充実させることで心と体を育成します。

◆郷土の歴史や文化財を大切にし、将来にわたって引き継ぐ

市内に数多く残る文化財、郷土の発展や人々のために尽くした鈴木梅太郎博士をはじめとする多くの偉人、これらの財産や功績を受け継ぎ、広く知らしめるとともに後世へ残していきます。

地域活動の充実を図ります

◆年代を超えた交流により、一人一人が主体となった地域づくりを目指す

子どもから高齢者まで地域に暮らす一人一人が役割を持ち、世代間の交流を図って地域活動を行うことで活力ある人づくり、地域づくりを目指します。

◆生きがいを持った豊かな暮らしを目指す地域の生涯学習活動の推進

はりはら塾や田沼塾などの活動をはじめ、コミュニティー活動、ボランティア活動、グループ活動などの自主的、自立的な生涯学習活動を活発化させ、暮らしの中に生きがいと豊かさを育みます。

## 5 牧之原市教育委員会 自己点検・自己評価シート

- ・英語力向上サポート事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
- ・理科支援員配置事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
- ・ICT活用推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
- ・適応指導教室推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
- ・学校再編事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
- ・コミュニティ・スクール推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
- ・小中一貫教育推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
- ・市民学習推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
- ・図書館管理運営事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
- ・文化振興事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
- ・指定文化財修復保存事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
- ・社会体育振興事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・20

# 牧之原市教育委員会自己点検・自己評価シート

大事業名	英語力向上サポート事業	新規・既存・定期	既存	款 項 目 大 中
				10 1 3 4
担当課名	学校教育課	担当係名	指導係	

### 1 事業の位置付け

事業期間	2006	年度 ~	年度	
2次総の位置付け	政策	教育文化	施策	学びの意欲を育む学校教育

### 2 事業の内容

事務事業の内容	児童生徒がこれからの国際社会に必要な資質やコミュニケーション能力を養うため、ALT(外国人英語指導助手)を配置して外国語活動を低学年から行なうとともに、長期休暇を利用したイングリッシュキャンプを企画実施。			
国・県・民間事業者による類似事業	他市町の実施状況	吉田町、御前崎市、島田市、焼津市、菊川市、藤枝市、川根本町、掛川市		

### 3 投入コスト(千円)

令和2年度 事業費	20,910	令和2年度 事業実施内容	ALT配置(5人) 外国語活動の実施(小学生) 英語検定へのチャレンジ 外国語活動指導力向上研修会(令和2年4月1日~令和5年3月31日)
-----------	--------	--------------	--

### 4 業績指標の設定

手段	<b>主な活動内容</b> ①外国人英語指導助手を配置し、中学校では英語の授業において、正しい発音や会話能力の向上を図る。小学校では、外国語活動を通して英語に慣れ親しむとともに、外国の文化等について学ぶ。 ②小中学生を対象に英語を聞き話す機会を設けるイングリッシュキャンプを実施する。 ③小学校外国語活動指導法研修会を実施する。 ④市内で英語検定を受検できる機会を設け、チャレンジを推奨する。そのために、中学2年生を対象に英語能力判定テストを実施する。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">活動指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th>2018 (H30)</th> <th>2019 (R1)</th> <th>2020 (R2)</th> <th>2021 (R3)</th> <th>2022 (R4)</th> </tr> <tr> <th>目標値 実績値</th> <th>目標値 実績値</th> <th>目標値 実績値</th> <th>目標値 実績値</th> <th>目標値 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ALTが入った、外国語・英語実施授業時間数</td> <td>時間</td> <td>2,750 3,853</td> <td>3,500 3,795</td> <td>3,300 3,496</td> <td>3,300</td> <td>3,300</td> </tr> <tr> <td>英語検定受験者数</td> <td>人</td> <td>150 130</td> <td>150 212</td> <td>150 125</td> <td>150</td> <td>150</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;活動指標の定義&gt; 手段(主な活動内容)を取った(実施した)ことが確認できる指標(提供されたモノやサービスの量)</p>	活動指標	単位	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	ALTが入った、外国語・英語実施授業時間数	時間	2,750 3,853	3,500 3,795	3,300 3,496	3,300	3,300	英語検定受験者数	人	150 130	150 212	150 125	150	150
活動指標	単位	2018 (H30)			2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)																				
		目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値																						
ALTが入った、外国語・英語実施授業時間数	時間	2,750 3,853	3,500 3,795	3,300 3,496	3,300	3,300																						
英語検定受験者数	人	150 130	150 212	150 125	150	150																						
目的	<b>対象(だれを対象とした事業か)</b> 市内全小中学校の児童生徒 <b>意図(対象がどのような状態になるのか)</b> 外国人英語指導助手を通し、外国の文化や生活などを学び、これからの国際社会に対応し生きていくために必要な資質やコミュニケーション能力を養う。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th>2018 (H30)</th> <th>2019 (R1)</th> <th>2020 (R2)</th> <th>2021 (R3)</th> <th>2022 (R4)</th> </tr> <tr> <th>目標値 実績値</th> <th>目標値 実績値</th> <th>目標値 実績値</th> <th>目標値 実績値</th> <th>目標値 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(児童生徒アンケート)英語でALTとよく話をする。</td> <td>%</td> <td>60 47</td> <td>60 42</td> <td>65 40</td> <td>70</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>(児童生徒アンケート)外国人と多少わからないことがあっても英語で会話できる。</td> <td>%</td> <td>60 60</td> <td>65 52</td> <td>70 55</td> <td>70</td> <td>70</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;成果指標の定義&gt; 目的(意図)の進捗・達成度が確認できる指標(例:市民の満足度、資格取得者の人数 など)</p> <p>&lt;目標値設定根拠&gt; 2/3程度の児童・生徒が英語での会話に抵抗感をもたないことが英語力向上のポイントであると捉えたため。</p>	成果指標	単位	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	(児童生徒アンケート)英語でALTとよく話をする。	%	60 47	60 42	65 40	70	70	(児童生徒アンケート)外国人と多少わからないことがあっても英語で会話できる。	%	60 60	65 52	70 55	70	70
成果指標	単位	2018 (H30)			2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)																				
		目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値																						
(児童生徒アンケート)英語でALTとよく話をする。	%	60 47	60 42	65 40	70	70																						
(児童生徒アンケート)外国人と多少わからないことがあっても英語で会話できる。	%	60 60	65 52	70 55	70	70																						

基本計画(上位施策)の方向性			
政策	2	施策	2
確かな学力を身に付け、生きる力を育む教育・学校と地域や企業が連携・協働し、地域を知る、郷土愛を醸成する、地域素材を活用するなどの特色ある教育を実践します。 ・知識及び技能、思考力、判断力、表現力、学びに向かう力などの確かな学力を身に付ける授業づくりのため、授業改善に取り組みます。 ・国際理解やコミュニケーション能力の向上、モノづくりの基礎となる理科教育の充実、ICTを活用した授業など、児童生徒が一步踏み出す追究となる学習を進めます。 ・変化が激しく、先行き不透明な時代に対応できるよう、たくましく生き抜く力を育みます。			

基本計画の指標	単位	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
		目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
授業がわかると思う児童・生徒の割合	%	90.0 86.4	90.0 96.7	90.0 87.7		
英語が好きという児童・生徒の割合	%	90.0 88.7	90.0 88.7	90.0 85.4		
子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取組に対する市民満足度	%	61.9 46.9	61.9 49.6	61.9 53.8		

担当課による点検・評価	英語検定については、第1回目は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、実施を見合わせた。第2回、第3回では、相変わらず多くの児童生徒が受検をした。小学生の受検者が16人となり、増加の傾向にある。 令和3年度も多くの児童生徒が受検をすることが予想される。その際、現在の実施方法では対応が難しくなることが考えられるため、級ごとに受け付け時間をずらすなど、実施時間の設定や試験会場の割り振りの仕方などに工夫が必要となる。 また、「ALTとよく話す」、「外国人と多少わからないことがあっても英語で会話できる」ととらえている児童生徒数が目標に及んでいない。コロナによる活動の制限があるにせよ、児童生徒に自信を持たせる指導の在り方を追究していく必要を感じている。
-------------	--

# 牧之原市教育委員会自己点検・自己評価シート

大事業名	理科支援員配置事業	新規・既存・定期	既存	款 項 目 大 中
				10   1   3   10
担当課名	学校教育課	担当係名	指導係	

## 1 事業の位置付け

事業期間	2013	年度 ~	年度	
2次総の位置付け	政策	教育文化	施策	学びの意欲を育む学校教育

## 2 事業の内容

事務事業の内容	理科授業をより効果的に進め、児童が理科への興味関心を高め、学力向上につなげる。理科支援員を4人配置し、実験準備など理科授業の環境整備の支援。			
国・県・民間事業者による類似事業	理科観察実験支援事業	他市町の実施状況	吉田町	

## 3 投入コスト(千円)

令和2年度 事業費	0 (※)	令和2年度 事業実施内容	理科授業の環境整備を支援(理科支援員4人配置)
-----------	----------	-----------------	-------------------------

※会計年度任用制度移行により管理的事業に計上 2,904,896円

## 4 業績指標の設定

手段	主な活動内容						
	理科支援員(会計年度任用職員)4人を任用し、実験準備などの理科授業の準備や片付け及び実験器具等理科室の環境整備を行い、理科授業を円滑に進める。	活動指標	単位	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)
		児童数(小学校3年生から6年生まで)	人	目標値 1,524 実績値 1,524	目標値 1,440 実績値 1,440	目標値 1,402 実績値 1,402	目標値 1,493 実績値 1,491
	理科支援員活動時間数	時間	1,890 1,890	2,520 2,118	2,520 2,362	2,520	

<活動指標の定義>  
手段(主な活動内容)を取った(実施した)ことが確認できる指標(提供されたモノやサービスの量)

目的	対象(だれを対象とした事業か)					
	小学校3年生から6年生まで	成果指標	単位	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
	意図(対象がどのような状態になるのか)	児童アンケート(理科授業の関心度、満足度)	%	90 96	90 98	90 98
	理科授業をより効果的、円滑に進めるため、児童への指導及び教員補助を行うことで、児童が理科への興味・関心を高め、学力向上につながる。	(児童アンケート)理科の授業の理解度	%	60 98	70 98	70 95

<成果指標の定義>  
目的(意図)の進捗・達成度合いが確認できる指標(例:市民の満足度、資格取得者の人数 など)

<目標値設定根拠>  
専門性を授業に活かすことができたかを把握するには2/3以上の児童の理解度が高まったと評価される必要があると考えたため。

基本計画(上位施策)の方向性					
政策 2	施策 1	基本計画の指標	単位	目標値 実績値	目標値 実績値
確かな学力を身に付け、生きる力を育む教育 ・学校と地域や企業が連携・協働し、地域を知る、郷土愛を醸成する、地域素材を活用するなどの特色ある教育を実践します。 ・知識及び技能、思考力、判断力、表現力、学びに向かう力などの確かな学力を身に付ける授業づくりのため、授業改善に取り組みます。 ・国際理解やコミュニケーション能力の向上、モノづくりの基礎となる理科教育の充実、ICTを活用した授業など、児童生徒が一步踏み出す追究となる学習を進めます。 ・変化が激しく、先行き不透明な時代に対応できるよう、たくましく生き抜く力を育みます。	授業がわかると思う児童・生徒の割合  子どもを合わせたいと思える学校づくりへの取組に対する市民満足度	%	90.0 86.4	90.0 96.7	90.0 87.7
		%	61.9 46.9	61.9 49.6	61.9 53.8

担当課による点検・評価	<p>勤務した学校の教職員からは感謝され、児童からの評価も高い。理科実験の準備、授業の支援等、小学校では今後もその必要性が強い。令和元年度からは4人体制で、すべての小学校へ支援員を配置できた。しかも、全員が理科専門で質の高い支援が行われた。</p> <p>教員からは、実験器具等の準備や理科室(準備室)の整備活動に対する評価が高く、理科支援員の活動によって、自らの授業計画に専念できたという声が寄せられている。</p> <p>約4分の1の教職員が、授業づくりのサポートを受けたことも成果であると認めており、理科支援員の専門性が生かされていると考えられる。</p>
-------------	---

# 牧之原市教育委員会自己点検・自己評価シート

大 事 業 名	ICT活用推進事業	新規・既存・定期	既存	款 項 目 大 中
				10   1   3   13
担 当 課 名	学校教育課	担 当 係 名	指導係	

## 1 事業の位置付け

事業期間	2015	年度 ~	年度	
2次総の位置付け	政策	教育文化	施策	学びの意欲を育む学校教育

## 2 事業の内容

事務事業の内容	児童生徒の学習内容の定着を高めるため、さらに情報機器の活用力を身につけるために、校内LAN等の環境整備と電子黒板やタブレット等を活用した授業を実施するため、指定校を設け、実践研究を推進。			
国・県・民間事業者による類似事業	他市町の実施状況	菊川市：50インチTVとPCを全教室に配置。H26年度に各教室にiPadを配布。		

## 3 投入コスト(千円)

令和2年度 事業費	168,579 178,535(繰越明許)	令和2年度 事業実施内容	GIGAスクール構想(校内ネットワークの構築、1人1台端末整備) 牧之原市ICT教育推進構想(ICT研究員研修、プログラミング教育)
-----------	--------------------------	-----------------	---

## 4 業績指標の設定

手 段	主な活動内容						
	新学習指導要領が完全実施される令和2年度までに、市内全教室でプロジェクト授業でICTを活用した実践ができるように環境整備を進める。以降令和4年度に向けて、児童生徒がタブレットを活用して、ICT機器を効果的に使い、自分の考えを説明したり、互いに比較したりすることで、主体的・対話的で深い学びの実現を目指す。	活動指標	単位	2018 (H30) 目標値 実績値	2019 (R1) 目標値 実績値	2020 (R2) 目標値 実績値	2021 (R3) 目標値 実績値
目 的	対象(だれを対象とした事業か)						
	市内小中学校の児童・生徒・教員	成果指標	単位	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
	意図(対象がどのような状態になるのか)	児童生徒用タブレット 配備数	台	71 71	222 109	222 3,103	222 -
	ICTを積極的に活用した授業実践を全校で展開する。	無線LAN、光回線整備	校	1 1	9 10	10 10	- -
		<活動指標の定義> 手段(主な活動内容)を取った(実施した)ことが確認できる指標(提供されたモノやサービスの量)					
		<成果指標の定義> 目的(意図)の進捗・達成度合が確認できる指標(例:市民の満足度、資格取得者の人数 など)					
		<目標値設定根拠> 一人一台端末の配置を想定し、児童・生徒の活用能力に目を向けるため。					

基本計画(上位施策)の方向性						
政策 2	施策 2	施策 2	施策 2	施策 2	施策 2	施策 2
確かな学力を身に付け、生きる力を育む教育 ・学校と地域や企業が連携・協働し、地域を知る、郷土愛を醸成する、地域素材を活用するなどの特色ある教育を実践します。 ・知識及び技能、思考力、判断力、表現力、学びに向かう力などの確かな学力を身に付ける授業づくりのため、授業改善に取り組みます。 ・国際理解やコミュニケーション能力の向上、モノづくりの基礎となる理科教育の充実、ICTを活用した授業など、児童生徒が一步踏み出す追究となる学習を進めます。 ・変化が激しく、先行き不透明な時代に対応できるよう、たくましく生き抜く力を育みます。						
		基本計画の指標	単位	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
		授業がわかると思う児童・生徒の割合	%	90.0 86.4	90.0 96.7	90.0 87.7
		ICTを使って分かりやすく、発表や表現ができる児童・生徒の割合	%	85.0 80.8	85.0 67.4	85.0 85.3

担当課による点検・評価	通信ネットワーク環境が整備され、1人1台端末を利用した授業が可能となったり、休業等非常時の活用や、持ち帰り利用が推進した。今後は、教員及び児童生徒が日常的に端末を活用できるよう研究していく。  プログラミング体験教室を全小学校で実施し、プログラミング教育の実践を進めることができた。
-------------	---

## 牧之原市教育委員会自己点検・自己評価シート

大事業名	適応指導教室推進事業	新規・既存・定期	既存	款 項 目 大 中
				10 1 3 2
担当課名	学校教育課	担当係名	指導係	

### 1 事業の位置付け

事業期間	2007	年度 ~	年度	
2次総の位置付け	政策	教育文化	施策	学びの意欲を育む学校教育

### 2 事業の内容

事務事業の内容	教育相談及び不登校児童生徒の学習や学校復帰、社会的自立を支援するため、適応指導教室「フルール」を設置し、児童生徒や保護者を対象に相談やカウンセリングによる支援を実施。			
国・県・民間事業者による類似事業	静岡県総合教育センター不登校児童学習支援「ステップバイステップ」	他市町の実施状況	多くの市町で実施	

### 3 投入コスト(千円)

令和2年度 事業費	464	令和2年度 事業実施内容	適応指導教室「フルール」(以下「フルール」)を設置し、教育相談員2人、巡回相談員3人、臨床心理士(非常勤)1人を配置し、相談事業を実施した。開設は週5日で、来室相談、電話相談を主とし、学校や保護者宅への巡回相談も実施した。また、学校へ行くことができない児童生徒を本施設で受け入れ、心的ケアや学習指導などを実施した。
-----------	-----	--------------	---

### 4 業績指標の設定

手段	<b>主な活動内容</b>		2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
	適応指導教室「フルール」を設置し、教育相談員2人、巡回相談員3人、臨床心理士(非常勤)1人を配置し、適応指導及び相談事業を実施。開設は、週5日で電話相談、来庁相談を主として、学校や保護者宅への巡回相談も実施。学校へ行けない児童・生徒を受け入れ、学習支援、人間関係づくり支援、相談活動を通して、学校復帰や社会的自立の支援を実施。	活動指標	単位	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
目的	<b>対象(だれを対象とした事業か)</b>	成果指標	単位	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
	不登校、いじめ、問題行動など、心に悩みや不安を抱える児童・生徒、その保護者	来室児童・生徒の状況が改善した割合	%	90 90	90 90	90 90	90 90
	<b>意図(対象がどのような状態になるのか)</b>	<p>&lt;活動指標の定義&gt; 手段(主な活動内容)を取った(実施した)ことが確認できる指標(提供されたモノやサービスの量)</p> <p>&lt;成果指標の定義&gt; 目的(意図)の進捗・達成度が確認できる指標(例:市民の満足度、資格取得者の人数 など)</p> <p>&lt;目標値設定根拠&gt; 来室により状況が改善することが学校への復帰や自立につながると考えられるため。</p>					
	教育相談及び不登校児童生徒の学習や学校復帰、社会的自立を支援するため。						

<b>基本計画(上位施策)の方向性</b>		2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
政策 2 施策 1	基本計画の指標	単位	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
きめ細かな学校生活の支援 ・牧之原市で生まれ育った全ての児童生徒が充実した教育を受けられるように、特別支援教育を更に充実します。 ・いじめ、不登校、問題行動などの防止、早期発見、解決を図るための相談体制を充実します。	子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取組に対する市民満足度	%	61.9 46.9	61.9 49.6	61.9 53.8	

担当課による点検・評価	<p>令和2年度末の牧之原市小中学校の不登校者(年間30日以上欠席者)は、小学校で30人(昨年度は30人)、中学校では48人(昨年度は40人)となり、小学校の不登校者数の割合は1.3%、中学校の不登校者数の割合は4.7%となった。不登校者数は小・中学校ともに減少の傾向は見られず、高止まりの状態である。そのため、保護者支援が不登校改善に必要な取組であり、対応する医療機関が少ないこの地域において、教育相談員による相談ができるフルールの必要性はさらに高まってきている。</p> <p>現在、通室している児童生徒については、学習に積み上げができるよう、学校と連絡を定期的に行っている。また、学校教育課と生徒指導報告の情報を共有しながら、フルールに関連した児童生徒の状況を把握している。通級経験のある児童生徒への関わりを必要に応じて継続することも考えている。今後は、必要に応じて、フルールからも適応指導教室の利用を呼びかけ、連絡を行う。</p>
-------------	---

# 牧之原市教育委員会自己点検・自己評価シート

大事業名	学校再編事業(旧 学校再編計画策定事業)	新規・既存・定期	既存	款 項 目 大 中
担当課名	教育総務課	担当係名	総務係	10   1   2   4   1

## 1 事業の位置付け

事業期間	2019	年度 ~	2022	年度
2次総の位置付け	政策	教育文化	施策	学びの意欲を育む学校教育

## 2 事業の内容

事務事業の内容	小中連携教育を進め、魅力ある教育環境を実現するため、小中学校再編計画を策定する。			
国・県・民間事業者による類似事業		他市町の 実施状況	島田市他	

## 3 投入コスト(千円)

令和2年度 事業費	419	令和2年度 事業実施内容	学校再編計画策定委員会から学校再編計画素案の答申を受けた。この素案は策定委員会が市民意見交換会及びWEBアンケートによる意見聴取を実施し、協議、研究を重ね策定したものである。
-----------	-----	-----------------	---

## 4 業績指標の設定

手段	主な活動内容		2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・望ましい教育環境のあり方の答申を受け、牧之原市学校再編計画策定委員会を中心に、小中連携教育を進め、学校再編等について調査・研究及び協議をする。</li> <li>・策定された学校再編計画に基づき、新しい学校施設整備基本構想をつくる。</li> </ul>	活動指標	単位	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
		牧之原市学校再編計画策定委員会等の開催(委員会・意見交換等)	回		5 5	7 30	8	
	学校施設整備基本構想検討会議等の開催(意見交換等)	回					6	
<活動指標の定義> 手段(主な活動内容)を取った(実施した)ことが確認できる指標(提供されたモノやサービスの量)								
目的	対象(だれを対象とした事業か)		目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	
	市民	成果指標	単位	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	
	意図(対象がどのような状態になるのか)	学校再編計画の策定	%		40 40	100 70	100	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・牧之原市望ましい教育環境のあり方に関する方針に基づき、小中学校の再編計画を策定する。</li> <li>・新しい学校の構想をつくることで、新しい学校の姿が市民の目に見える形となる。</li> </ul>	学校整備基本構想の策定	%			0 0	0 50	
<成果指標の定義> 目的(意図)の進捗・達成度合が確認できる指標(例:市民の満足度、資格取得者の人数 など)								
<目標値設定根拠> 事業の進捗を割合で示している。								
	基本計画(上位施策)の方向性		目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	
	政策   戦略P   施策   3 公共施設マネジメント基本計画の時点修正、施設分類別の個別計画の策定を行う。公共施設を賢く使うことで、サービスの質の向上に努めるとともに、個別施設の更新、統廃合、長寿命化に計画的に取り組む。	基本計画の指標	単位	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	
		子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取組に対する市民満足度	%	61.9 46.9	61.9 49.6	61.9 53.8		

担当課による点検・評価	策定委員会が各種意見聴取と協議を重ね、練り上げた計画素案を、令和3年3月に答申いただくことができた。 今後、本計画素案を基に、より実行性の高い計画とするため、全庁的な検討をさらに行うとともに、建設に関する調査等を実施する。市民への周知や意見聴取も行った上で、令和3年度中に「牧之原市学校再編計画」を策定する。  感染症対策については、会議及び意見交換会等の際に換気、消毒、検温、出席者同士の距離を充分にとるなど密にならない配慮をするとともに、マイクについても1人1台となるようにした。さらに、冬に実施を予定していた意見交換会については、オンラインによるアンケートの実施に切り替えた。  また、会議や意見交換会には、教育委員会の課長以上が出席するとともに、関係部署の課長で組織した庁内検討組織において検討を行った。
-------------	---

# 牧之原市教育委員会自己点検・自己評価シート

大事業名	コミュニティ・スクール推進事業	新規・既存・定期	既存	款 項 目 大 中
担当課名	学校教育課	担当係名	管理係	10 1 2 4 3

## 1 事業の位置付け

事業期間	2019	年度 ~	2022	年度
2次総の位置付け	政策	教育文化	施策	学びの意欲を育む学校教育

## 2 事業の内容

事務事業の内容	子どもたちに「次代を切り拓く力」を育むため、キャリア教育を軸とした小中一貫教育及び社会全体で子どもを育てる仕組みを進める。社会全体で子どもを育てる仕組みとして、地域学校協働活動と一体的なコミュニティ・スクールをつくるために研究・検討及び試行し、牧之原市に合ったコミュニティ・スクールを全校に設置し、活動を推進する。			
国・県・民間事業者による類似事業	「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の6」により、コミュニティ・スクールの設置が努力義務化されている。	他市町の実施状況	浜松市、磐田市、袋井市、藤枝市等	

## 3 投入コスト(千円)

令和2年度 事業費	2,863	令和2年度 事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ・スクール体制構築事業(各校コミュニティ・スクールの設置促進)</li> <li>・コミュニティ・スクール推進モデル事業(萩間・勝間田小、相良中)</li> </ul>
-----------	-------	--------------	--

## 4 業績指標の設定

手段	<b>主な活動内容</b> 市内全小中学校にコミュニティ・スクールを設置し、地域と学校が共通の目標の元、教育活動を行う。	活動指標	単位	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
				目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
		会議の開催	回		3	3	3	3
					3			
<活動指標の定義> 手段(主な活動内容)を取った(実施した)ことが確認できる指標(提供されたモノやサービスの量)								

目的	<b>対象(だれを対象とした事業か)</b> 市民	成果指標	単位	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
	<b>意図(対象がどのような状態になるのか)</b> 学校運営に地域・保護者の参加が可能となるとともに、地域においても学校においても共通の目標を持って取り組むことができる。				実績値	実績値	実績値	実績値
		コミュニティ・スクール設置校(試行中含む)	校		2	3	7	12
					3			
<成果指標の定義> 目的(意図)の進捗・達成度合が確認できる指標(例:市民の満足度、資格取得者の人数 など)								
<目標値設定根拠> 令和4年度までに12校にコミュニティ・スクールを設置するにあたり、学校と相談し段階的に開始する可能性がある数値。								

基本計画(上位施策)の方向性		基本計画の指標		単位	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
政策	2	施策	1		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
確かな学力を身に付け、生きる力を育む教育 ・学校と地域や企業が連携・協働し、地域を知る、郷土愛を醸成する、地域素材を活用するなどの特色ある教育を実践します。 ・知識及び技能、思考力、判断力、表現力、学びに向かう力などの確かな学力を身に付ける授業づくりのため、授業改善に取り組めます。 ・国際理解やコミュニケーション能力の向上、モノづくりの基礎となる理科教育の充実、ICTを活用した授業など、児童生徒が一步踏み出す追究となる学習を進めます。 ・変化が激しく、先行き不透明な時代に対応できるよう、たくましく生き抜く力を育みます。									
					61.9	61.9	61.9		
					46.9	49.6	53.8		
					59.5	59.5	59.5		
					44.5	47.0	49.6		

担当課による点検・評価	モデル校の3校においては、CSディレクターを中心に精力的に活動し、学校と地域との連携がより深まりつつある。 各校の教頭を対象とした研修会を2年間継続して実施したことにより、コミュニティ・スクールへの理解がより深まり、設置に向けての意欲が高まった。その結果、令和3年度に向けては、各学校においてCSディレクターが任命されることとなった。 3年度は、各校のCSディレクターを核としながら、ディレクター同士の情報交換や交流の機会をもちながら、各校の活動を丁寧にスタートしていく。
-------------	--



# 牧之原市教育委員会自己点検・自己評価シート

大事業名	小中一貫教育推進事業	新規・既存・定期	既存	款 項 目 大 中
				10   1   2   4   2
担当課名	学校教育課	担当係名	管理係	

## 1 事業の位置付け

事業期間	2019	年度 ~	2022	年度
2次総の位置付け	政策	教育文化	施策	学びの意欲を育む学校教育

## 2 事業の内容

事務事業の内容	次代を切り拓く力を育むために、キャリア教育を軸とした義務教育9年間の系統立てた学びを実現に向けて、牧之原市の合った小中一貫教育の検討し、計画を策定する。それに基づき、分離型小中一貫校を推進するとともに、再編時期の4年前からは新たな小中一貫校に向けて調整・検討を行う。			
国・県・民間事業者による類似事業	小中一貫校、義務教育学校	他市町の実施状況	静岡市、浜松市、磐田市等	

## 3 投入コスト(千円)

令和2年度 事業費	43	令和2年度 事業実施内容	市教育委員会と市教育会との協働研究 校長研修、教頭研修、主幹教諭・教務主任研修、英語・外国語活動研修
-----------	----	--------------	---

## 4 業績指標の設定

手段	<b>主な活動内容</b> 教職員を核とした検討組織を立ち上げ、牧之原市に合った小中一貫教育の形やカリキュラム、連携方法等について検討し、計画を策定する。試行をしながら、分離型小中一貫校での活動を進め、最終的には再編による小中一貫校での効果的な教育活動ができるようにする。	活動指標	単位	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
				目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
		会議等の開催	回		2	3	3	3
					14	12		
		<活動指標の定義> 手段(主な活動内容)を取った(実施した)ことが確認できる指標(提供されたモノやサービスの量)						
目的	<b>対象(だれを対象とした事業か)</b> 小中学生	成果指標	単位	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
	<b>意図(対象がどのような状態になるのか)</b> 9年間を連続させることで、子どもたちがより効果的で、質の高い教育を受けることができるようになる。			目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
		小中一貫教育のキャリア教育プログラムの完成・推進	%		30	60	80	100
		小中一貫教育の教科プログラムの完成	%		30	40	70	100
		<成果指標の定義> 目的(意図)の進捗・達成度が確認できる指標(例:市民の満足度、資格取得者の人数 など)						
		<目標値設定根拠> 4年間の進捗を割合で示している。						

<b>基本計画(上位施策)の方向性</b> 政策 2 施策 1 確かな学力を身に付け、生きる力を育む教育 ・学校と地域や企業が連携・協働し、地域を知る、郷土愛を醸成する、地域素材を活用するなどの特色ある教育を実践します。 ・知識及び技能、思考力、判断力、表現力、学びに向かう力などの確かな学力を身に付ける授業づくりのため、授業改善に取り組みます。 ・国際理解やコミュニケーション能力の向上、モノづくりの基礎となる理科教育の充実、ICTを活用した授業など、児童生徒が一步踏み出す追究となる学習を進めます。 ・変化が激しく、先行き不透明な時代に対応できるよう、たくましく生き抜く力を育みます。	基本計画の指標	単位	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
			目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
	子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取組に対する市民満足度	%	61.9	61.9	61.9		
			46.9	49.6	53.8		

担当課による点検・評価	各研修会と市教育委員会が連携を行い、市の特色ある教育がスピード感をもって推進されてきた。また、専門家の助言をいただくことで、どこを現状として目指しているのかを客観的に指摘していただき、組織として共有しながら取り組むことができた。 市として、身につけたい資質・能力をそれぞれの教科において目指す力として具体的にはどんなものなのか、明確にする必要がある。今後、作成と同時に周知徹底はもちろん、小中合同の研修会において、検証及び修正を図っていく必要がある。 各部(教頭・教務等)がそれぞれで研修を積み重ねてきたが、共通である「小中学校の連携」を視野に入れて、今後は教頭や教務主任、また他の部とも連携(合同の場)をもって取り組む必要性を感じている。
-------------	--

# 牧之原市教育委員会自己点検・自己評価シート

大事業名	市民学習推進事業	新規・既存・定期	既存	款 項 目 大 中
				10 5 5 2 2
担当課名	社会教育課	担当係名	社会教育係	

## 1 事業の位置付け

事業期間	年度	~	年度	旧町からの継続事業
2次総の位置付け	政策	教育文化		施策 豊かさを育む社会教育・芸術文化

## 2 事業の内容

事務事業の内容	豊かな生涯学習社会の形成を推進するため、市民が生きがいとなる様々な学習をしたり、成果を発表したりする場を提供。			
国・県・民間事業者による類似事業		他市町の 実施状況		

## 3 投入コスト(千円)

令和2年度 事業費	5,145	令和2年度 事業実施内容	家庭教育学級や生涯学習セミナーへの開催委託、各種文化芸術団体への補助金交付等
-----------	-------	-----------------	--

## 4 業績指標の設定

手段	<b>主な活動内容</b> 【市民学習委託事業】 家庭教育学級、女性フォーラム、はりはら塾や田沼塾、中央セミナー、榛原地区生涯学習セミナー、文化祭開催など市民学習活動に関する事業を市民団体に開催委託する。 【市民学習活動支援事業】 ホーイガールスカウト、子どもを育む地域推進団体、文化協会、各地区公民館活動、太鼓保存会などの市民学習活動を支援する。		活動指標	単位	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
					目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
			講座受講人数(講師・受講生含む)はりはら塾	人	1,800 1,781	1,800 1,762	1,800 1,514	1,800	1,800
			講座受講人数(講師・受講生含む)田沼塾	人	1,000 975	1,000 909	1,000 791	1,000	1,000
			<b>&lt;活動指標の定義&gt;</b> 手段(主な活動内容)を取った(実施した)ことが確認できる指標(提供されたモノやサービスの量)						
目的	<b>対象(だれを対象とした事業か)</b> 市民全体、市民学習活動団体、はりはら塾・田沼塾の講師及び受講生など  <b>意図(対象がどのような状態になるのか)</b>  個性を伸ばし、生きがいとなる様々な学習をしたり、成果を発表したりすることにより、豊かな生涯学習社会の形成を図る。		成果指標	単位	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
					0.43 0.42	0.43 0.44	0.43 0.34	0.43	0.43
			<b>&lt;成果指標の定義&gt;</b> 目的(意図)の進捗・達成度合が確認できる指標(例:市民の満足度、資格取得者の人数 など)						
			<b>&lt;目標値設定根拠&gt;</b> 過去の実績を考慮し算定						

基本計画(上位施策)の方向性			
政策	2	施策	2
社会教育活動の実施 ・市民のライフスタイルやライフステージに応じた多様な学習機会の提供、地域での活躍の場の創出などを通じて、地域教育力を高めます。 ・若者の自分磨き、地域による家庭教育力の向上の支援、学力向上と放課後の居場所づくりのための学習スペースの確保、高齢者の生きがいづくりなどの交流・学習の場の創出を支援します。			

基本計画の指標	単位	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
生涯学習やサークル活動への参加機会の提供に対する市民満足度	%	67.5 57.5	67.5 58.4	67.5 59.5		

担当課による点検・評価	各種の文化振興事業、生涯学習事業を実施することで、多くの市民が文化・芸術・生涯学習に親しむ機会を得ることができた。今後、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じながら、生涯学習の推進及び普及に努める。
-------------	---

# 牧之原市教育委員会自己点検・自己評価シート

大事業名	図書館管理運営事業(相良・榛原・移動図書館)	新規・既存・定期	既存	款 項 目 大 中
				10   5   3   4   2
担当課名	社会教育課	担当係名	図書係	

## 1 事業の位置付け

事業期間		継続事業	
2次総の位置付け	教育文化		学びを循環する社会教育

## 2 事業の内容

事務事業の内容	子どもたちが本を通して愛情や情緒を育むため、読み聞かせ会の開催や読書ボランティアの育成を行う。また、図書館機能の充実と併せ、公共施設の適正化・有効利用による新たな図書館整備に向け検討を実施。		
国・県・民間事業者による類似事業	他市町の実施状況	図書館所有全市町村	

## 3 投入コスト(千円)

令和2年度 事業費	20,115	令和2年度 事業実施内容	図書館サービスの充実
-----------	--------	--------------	------------

## 4 業績指標の設定

※H30から新しい活動指標(貸出冊数)を使用する。

手段		<b>主な活動内容</b> ・各保育園、幼稚園、小学校、福祉施設等での読み聞かせ ・おはなし会の開催 ・ボランティア研修会の開催 ・利用者ニーズに合った図書の充実 ・既存図書の保護 ・3館相互の連携強化(相良図書館、榛原図書館、移動図書館) ・学校図書室訪問の実施 ・移動図書館で各地を回り貸出業務を行う
----	--	--

活動指標	単位	H30	R1	R2	R3	R4
		目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
来館者数(利用者数)	人	40,000	40,500	26,700	68,000	73,000
		34,450	31,042	14,986		

<活動指標の定義>  
手段(主な活動内容)を取った(実施した)ことが確認できる指標(提供されたモノやサービスの量)

目的		<b>対象(だれを対象とした事業か)</b> ・園児、児童、親子、放課後児童クラブ、福祉施設等 ・市民  <b>意図(対象がどのような状態になるのか)</b> ・読み聞かせ会や親子読書の開催、読書ボランティアの育成及び家庭・地域・学校が連携し、本に親しむ場の整備に努める。 ・図書館の施設や設備の改善及び有効的な活用方法の検討
----	--	---

成果指標	単位	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
図書館の機能充実や整備に関する取組の満足度	%	—	—	—	—	—
		29	31	32		

<成果指標の定義>  
目的(意図)の進捗・達成度合いが確認できる指標(例:市民の満足度、資格取得者の人数 など)

<目標値設定根拠>  
過去の実績を考慮し、算定

基本計画(上位施策)の方向性			
政策	2	施策	2
図書館機能の充実 ・図書のインターネットでの所蔵検索や県内図書館の横断検索を可能とするなど、図書館の利便性の向上を図るとともに、他の図書館との連携強化を図ります。 ・既存の図書館と交流の場等との複合化を図り、図書館機能を充実します。			

基本計画の指標	単位	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
図書館本貸出冊数	冊	85,000	85,000	85,000		
		69,689	65,325	35,120		
図書館の機能充実や整備に関する取組に対する市民満足度	%	48.5	48.5	48.5		
		28.5	31.0	32.2		

担当課による点検・評価	毎年実施してきた各イベントは、新型コロナに伴い中止となった。一方で、コロナ禍における図書館のあり方を検討し、体温測定や閲覧席の使用停止などの対策を実施した。 図書館の充実に向けた取り組みとして、図書館協議会での協議を経て、新たに図書交流館を整備することに伴い、3館の図書がインターネットから検索・予約ができる図書館システムの導入や図書館ホームページの作成など、新たな利用者サービスの導入を図った。
-------------	---

## 牧之原市教育委員会自己点検・自己評価シート

大事業名	文化振興事業	新規・既存・定期	既存	款 項 目 大 中
				10   5   3   2
担当課名	社会教育課	担当係名	文化振興係	

### 1 事業の位置付け

事業期間	2007	年度 ~	年度		
2次総の位置付け	政策	教育文化	施策	豊かさを育む社会教育・芸術文化	

### 2 事業の内容

事務事業の内容	文化意識の高揚と芸術活動の活性化を図るため、文化振興活動や文化振興に係る事業を支援。				
国・県・民間事業者による類似事業		他市町の実施状況			

### 3 投入コスト(千円)

令和2年度 事業費	0	令和2年度 事業実施内容	相良総合センター「い〜ら」のホールを利用して行われる、市民の自主的な文化振興事業に対して補助金を交付するものであるが、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、補助対象となる事業の中止が相次いだ。このため、事業費全額を減額補正した。
-----------	---	--------------	---

### 4 業績指標の設定

手段	<b>主な活動内容</b> 市民の文化意識の高揚と芸術活動の活性化を図るため、相良総合センターい〜らホールで文化振興事業を行った市民団体に対して補助金を交付する。	活動指標	単位	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
				目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
		補助事業の利用団体数	団体	6 4	5 1	5 0	5	5
		<活動指標の定義> 手段(主な活動内容)を取った(実施した)ことが確認できる指標(提供されたモノやサービスの量)						
目的	<b>対象(だれを対象とした事業か)</b> 文化芸術に関心のある市民 <b>意図(対象がどのような状態になるのか)</b> 様々な文化や芸術に親しむことができるよう、鑑賞や発表の場、機会を提供する。	成果指標	単位	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
		ホール利用率	%	80% 75%	80% 66%	80% 53%		
		<成果指標の定義> 目的(意図)の進捗・達成度が確認できる指標(例:市民の満足度、資格取得者の人数 など)						
		<目標値設定根拠> 利用率=利用日数÷開館日数 平日を含める開館日数の8割利用を目標値とする。						
	<b>基本計画(上位施策)の方向性</b> 政策 2 施策 2 芸術文化の体験 ・芸術文化に誰もが気軽に参加し、触れ合い、体験できる機会をつくります。	基本計画の指標	単位	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
		文化や芸術に触れる機会を提供(充実)する取組に対する市民満足度	%	53.3 40.5	53.3 36.2	53.0 42.0		

担当課による点検・評価	世界的に新型コロナウイルス感染症が大流行しているため、事業の見通しが立たない状況である。今後、ウィズコロナ時代における文化振興事業の支援施策として、要綱改正を含めた補助制度の見直しを行い、予算等に影響のない形で継続することを検討していく。
-------------	---

## 牧之原市教育委員会自己点検・自己評価シート

大事業名	指定文化財修復保存事業費助成事業	新規・既存・定期	既存	款 項 目 大 中
				10 5 4 2 2
担当課名	社会教育課	担当係名	文化振興係	

### 1 事業の位置付け

事業期間	2005	年度 ~	年度	
2次総の位置付け	政策	教育文化	施策	豊かさを育む社会教育・芸術文化

### 2 事業の内容

事務事業の内容	郷土の貴重な財産である文化財を継承し、愛護する心を育てるため、指定文化財の所有者に対して、保存修復にかかる費用を補助。			
国・県・民間事業者による類似事業		他市町の実施状況		

### 3 投入コスト(千円)

令和2年度 事業費	442	令和2年度 事業実施内容	指定文化財の修復や保存活動を行う文化財所有者、民俗芸能団体へ補助金を交付するものであるが、御船神事などの民俗芸能活動については、6件のうち5件が新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため中止となった。
-----------	-----	--------------	--

### 4 業績指標の設定

手段	主な活動内容		活動指標	単位	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
	文化財の保存修復にかかる事業費に対して補助金を交付。	→	民俗芸能・管理費補助金の交付件数	件	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
				12 12	12 12	12 7	12	12	
<活動指標の定義> 手段(主な活動内容)を取った(実施した)ことが確認できる指標(提供されたモノやサービスの量)									
目的	対象(だれを対象とした事業か)		成果指標	単位	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
	文化財の所有者及び民俗芸能団体	→	伝統文化や歴史文化財を守り、活用していく取組に対する市民満足度	ポイント	0.50 0.11	0.50 0.09	0.50 0.13	0.50	0.50
<成果指標の定義> 目的(意図)の進捗・達成度合が確認できる指標(例:市民の満足度、資格取得者の人数 など)									
<目標値設定根拠> ここ数年は「満足」が「不満」を上回っており、当面は満足度を高めることを目標とする。									

基本計画(上位施策)の方向性		基本計画の指標	単位	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
政策 2 施策 2		文化や芸術に触れる機会を提供(充実)する取組に対する市民満足度	%	53.3	53.3	53.0		
地域の歴史の継承 ・地域の文化財を包括的に調査、活用することにより、郷土の歴史への関心と理解を深めるとともに、史料の展示公開を通じて地域を学ぶ機会を創出します。 ・地域の歴史や偉人の功績を顕彰し、市民の郷土愛を育みます。				40.5	36.2	42.0		
		史料館の利用者数	人	18,000	18,000	18,000		
				13,879	15,701	6,561		

担当課による点検・評価	文化財所有者と協力して保存、修復事業が実施できた。文化財については、施設の老朽化やコロナ禍における行事の存続などが課題となっており、今後も指定物の保存状態等の把握に努めるとともに、可能な限り支援を行っていく。
-------------	--

# 牧之原市教育委員会自己点検・自己評価シート

大事業名	社会体育振興事業	新規・既存・定期	既存	款	項	目	大	中
担当課名	スポーツ推進課	担当係名	スポーツ推進係	10	6	1	2	1

## 1 事業の位置付け

事業期間	2019	年度	~	2020	年度	
2次総の位置付け	政策	健康福祉	施策	健康づくりの推進,地域医療体制の構築		

## 2 事業の内容

事務事業の内容	心と身体の健康づくりのため、スポーツ推進委員を中心にスポーツの普及を図るとともに運動の機会を提供する。				
国・県・民間事業者による類似事業	スポーツ基本計画静岡県スポーツ推進計画	他市町の実施状況	全市町		

## 3 投入コスト(千円)

令和2年度 事業費	4,420	令和2年度 事業実施内容	スポーツ・健康教室の推進 (幼児運動、軽スポーツの普及)
-----------	-------	--------------	---------------------------------

## 4 業績指標の設定

手段	<b>主な活動内容</b> スポーツ推進計画に基づき、スポーツ推進委員会やNPO法人牧之原市スポーツ協会、まきのはら総合スポーツクラブと連携し、幼児から高齢者までのライフステージに合わせたスポーツの普及啓発を図る。						
	活動指標	単位	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
	スポーツ大会・教室等への参加者数	人	5,000 6,183	5,000 5,512	5,000 2,323	5,000	5,000

<活動指標の定義>  
 手段(主な活動内容)を取った(実施した)ことが確認できる指標(提供されたモノやサービスの量)

目的	<b>対象(だれを対象とした事業か)</b> こどもから大人までの市民						
	成果指標	単位	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
	一日30分以上の運動をする頻度	%	47.0 27.0	47.0 35.3	47.0 35.3	47.0	47.0

<成果指標の定義>  
 目的(意図)の進捗・達成度合いが確認できる指標(例:市民の満足度、資格取得者の人数 など)

<目標値設定根拠>  
 5年間の実績による目標値

	基本計画(上位施策)の方向性					
政策	1	施策	4	基本計画の指標	単位	目標値 実績値
運動による健康づくり ・気軽にスポーツや運動を楽しめる環境を整備します。				1日30分以上の運動をする頻度	%	47.0 27.0
						47.0 35.3
						47.0
						47.0

担当課による点検・評価	グラウンド芝生化については、市スポーツ推進審議会から小規模での実地検証、施設利用者による協力体制・組織作り等の建議を受け、関係機関と調整を図り、天然芝における小規模での実地検証の実施について協議を継続していく。 また、市では体育施設を兼ねた大規模避難施設について、スポーツ推進審議会からの建議書をもとに、多目的体育館整備基本計画(案)を策定し、災害時には「市の防災拠点」として、普段は「誰もが利用しやすいスポーツ施設」として利用できる施設の整備を進めていく。 なお、コロナ禍の中、感染防止対策を講じて各種の運動教室等を行うとともに、市民への運動機会の啓発活動として、自宅でできるトレーニング・ストレッチ動画を制作しホームページ等で配信した。今後も引き続き、感染症対策を講じた上で、市民がスポーツを楽しむ教室やイベントを開催し、スポーツ推進計画の理念である「スポーツで健康なまちづくり」を推進していく。
-------------	--

## 6 教育委員会活動等報告

### 1 教育委員会活動

#### (1) 教育委員会とは

教育委員会は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(以下「地教行法」という。)の定めるところにより、学校その他教育機関の設置・管理、その他の教育事務を執行することを職務権限とする行政委員会であり、教育長及び4人の委員をもって組織される合議体の執行機関です。

#### (2) 教育委員会の構成

牧之原市教育委員会の構成は、次のとおりです。

##### ① 教育長

教育長は、牧之原市長の被選挙権を有する者で、人格が高潔で、教育行政に関し識見を有するもののうちから、市長が、市議会の同意を得て任命します。教育長は、教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表します。任期は3年で常勤です。

##### ② 委員

委員は、牧之原市長の被選挙権を有する者で、人格が高潔で、教育・学術及び文化に関し識見を有するもののうちから、市長が、市議会の同意を得て任命します。任期は4年で非常勤です。

#### ◎ 牧之原市教育委員会委員の紹介

(令和3年3月現在)

役職名	氏名	任期
教育長	橋本 勝	平成30年10月1日～令和3年9月30日
委員 (教育長職務代理者)	澤田 衛	平成30年11月16日～令和4年11月15日
委員	吉住 幸子	平成29年12月3日～令和3年12月2日
委員	寺井 ゆみ	令和元年12月9日～令和5年12月8日
委員	池ヶ谷 裕太	令和2年11月16日～令和6年11月15日

### (3) 教育委員会の活動

教育行政の基本的な施策の決定や諸問題の解決策の重要案件等処理するため、原則として、毎月1回開催する定例会と、必要に応じ緊急案件を処理するために開催する臨時会のほか、事務局との情報交換・事務報告・その他の打合せ等を行っています。

#### 令和2年度 教育委員会開催状況

	開催日	時間	会場	種類
1	4月28日（火）	9:30～	相良庁舎4階第3会議室	定例会
2	5月27日（水）	9:30～	相良庁舎4階第3会議室	定例会
3	6月25日（木）	9:30～	相良庁舎4階第3会議室	定例会
4	7月28日（火）	9:30～	相良庁舎4階第3会議室	定例会
5	8月27日（木）	9:30～	相良庁舎4階第3会議室	定例会
6	9月29日（火）	9:00～	相良小学校	定例会 授業参観
7	10月23日（金）	9:30～	相良庁舎4階第3会議室	定例会
8	11月20日（金）	9:30～	相良庁舎4階第3会議室	定例会
9	12月25日（金）	9:30～	相良庁舎4階第3会議室	定例会
10	1月28日（木）	9:00～	菅山小学校	定例会 授業参観
11	2月18日（木）	13:00～	相良庁舎4階第3会議室	定例会
12	3月1日（月）	11:00～	相良庁舎4階第3会議室	臨時会
13	3月26日（火）	9:30～	相良庁舎4階第3会議室	定例会

#### 令和2年度 総合教育会議出席状況

	開催日	時間	会場	出席者	議事
1	12月24日（木）	9:30～ 11:30	相良庁舎4階 大会議室	9名 市長・教育長 市教育委員3名 学組教育委員4名	・コミュニティ・スクールについて ・ICT教育の推進について ・新型コロナウイルス感染症への 対応について



## 令和2年度牧之原市教育委員会議案一覧

議案番号	会議月日	件名
1	R2. 4. 28	牧之原市立小中学校の主任等の任命について
2	R2. 4. 28	牧之原市立小中学校の学校評議員の委嘱について
3	R2. 4. 28	牧之原市立小中学校の学校運営協議会委員の委嘱について
4	R2. 4. 28	令和2年度榛原地区教科用図書採択連絡協議会委員の選出について
5	R2. 4. 28	牧之原市公民館運営協議会委員の委嘱について
6	R2. 4. 28	牧之原市図書館協議会委員の委嘱について
7	R2. 4. 28	牧之原市部活動指導員設置要綱の制定について
8	R2. 4. 28	令和2年度牧之原市教育費補正予算(案)について
9	R2. 5. 27	牧之原市川崎小学校の主任等の変更について
10-1	R2. 5. 27	牧之原市スポーツ推進審議会委員の委嘱について
10-2	R2. 6. 25	牧之原市公民館運営協議会委員の委嘱について(追加)
11	R2. 7. 28	令和3～6年度使用の中学校用教科用図書の採択について
12	R2. 7. 28	令和2年度牧之原市教育費補正予算(案)について
13	R2. 8. 27	牧之原市立図書館条例の一部を改正する条例について
14	R2. 8. 27	牧之原市学校教育振興事業費補助金交付要綱の一部を改正する要綱について
15	R2. 8. 27	牧之原市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱を廃止する要綱について
16	R2. 10. 23	牧之原市菅山小学校の主任等の変更について
17	R2. 10. 23	牧之原市教育委員会の自己点検・評価報告書について
18	R2. 10. 23	令和2年度牧之原市教育費補正予算について
19	R2. 11. 20	牧之原市教育長職務代理者の選任について
20	R2. 11. 20	牧之原市萩間小学校の主任等の変更について
21	R2. 11. 20	相良公民館の廃止について
22	R2. 11. 20	吉田町牧之原市広域施設組合同規約の一部を変更する規約について
23	R2. 11. 20	議会の議決を経るべき議案についての意見の申出について
24	R2. 12. 25	牧之原市図書館協議会委員の委嘱について
25	R2. 12. 25	学校給食調理場の統合について
26	R2. 12. 25	牧之原市生涯スポーツ振興事業費等補助金交付要綱の一部を改正する要綱
27	R2. 12. 25	牧之原市生涯スポーツ推進事業委託費交付要綱の一部を改正する要綱

28	R3. 1. 28	牧之原立市小学校の主任等の変更について
29	R3. 1. 28	学校給食調理場の統合について
30	R3. 1. 28	令和2年度牧之原市教育費補正予算(案)について
31	R3. 2. 18	牧之原市文化会館等建設基金条例を廃止する条例の制定について
32	R3. 2. 18	牧之原市公民館条例施行規則の一部を改正する規則について
33	R3. 2. 18	牧之原市学校教育振興事業費補助金交付要綱の一部を改正する要綱について
34	R3. 2. 18	令和2年度牧之原市教育委員会表彰者の決定について
35	R3. 2. 18	令和2年度牧之原市教育費補正予算について
36	R3. 3. 1	牧之原立萩間小学校の主任等の変更について
37	R3. 3. 1	教職員の不適切な指導に関する指導措置について
38	R3. 3. 1	県費負担教職員人事の内申について
39	R3. 3. 26	令和3年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について
40	R3. 3. 26	令和3年度牧之原市教育委員会人事異動について
41	R3. 3. 26	牧之原市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則
42	R3. 3. 26	牧之原市教育委員会事務局職員職名規則
43	R3. 3. 26	牧之原市小中学校管理規則の一部を改正する規則
44	R3. 3. 26	牧之原市小中学校処務規程の一部を改正する規程
45	R3. 3. 26	牧之原市教諭等の標準的な職務の内容及び教諭等の職務の遂行に関する要綱
46	R3. 3. 26	牧之原市学校事務職員の標準的な職務の内容及び学校事務職員の職務の遂行に関する要綱
47	R3. 3. 26	牧之原市立図書館条例施行規則を改正する規則
48	R3. 3. 26	牧之原市図書館雑誌スポンサー広告掲載取扱要領の一部を改正する要領

牧之原市教育委員会自己点検・評価は、総合計画の基本計画で示されている8つの「方向性」に位置づけられた12の事業について、点検及び評価を行うこととされている。

評者は牧之原市教育委員会より提出された「自己点検・評価シート」の項目及び内部評価結果について、総合的な評価を行った。

#### 1 英語力向上サポート事業

A L Tが入った外国語・英語実施授業時間数が目標を上回っているが、「英語でA L Tとよく話をする」という数値が減少傾向にあるのが気がかりである。英語力に自信がないからなのか、コロナの影響等もあり話すこと自体を憚っているのか、原因の追求と対策に期待したい。

#### 2 理科支援員配置事業

児童の理解、授業の関心度及び満足度が高い数値が示されており、「理科離れ」が問題視される昨今の状況において成果が出ていると思われる。さらなる充実に期待したい。

#### 3 I C T活用推進事業

1人1台端末が実現できたことは大きな環境の変化であろう。教員にとってはしばらく試行錯誤が続くと思うが、やりながら成果を感じていけると良いと思われる。

#### 4 適応指導教室推進事業

不登校の原因等は非常に多様化・複雑化している様相が伺える。児童・生徒、保護者へ寄り添いながらサポートする機関があることがセーフティネットとして重要であろう。今後はZ o o m等の活用など多様な手段を検討していただきたい。

#### 5 学校再編事業

学校再編計画については、教員、地域住民等が主体的に参画できることが望ましい。これまでも説明会等で丁寧に周知してきているが、今後も継続してより良い学校再編計画になることを期待したい。

6 コミュニティ・スクール推進事業

コミュニティ・スクールの活動がじわじわと浸透してきている様相が伺えてとても良い動きだと思われる。これらの活動が一般市民にも認知されることに期待したい。

7 小中一貫教育推進事業

学校再編計画の骨格となる部分が小中一貫教育であると思われるため、さらなる教職員の理解促進等を進めていただきたい。

8 市民学習推進事業

新型コロナウイルス等の影響で市民学習等の開催が困難な状況でもあったが、感染症防止対策を講じながら、生涯学習のさらなる推進をはかっていただきたい。

9 図書館管理運営事業

図書交流館の整備が進められたことは大きな環境の変化であると思われる。図書交流館の利用者の声に耳を傾けながらさらなる改善に期待したい。

10 文化振興事業

文化振興事業はコロナウイルスの影響が大きいと推察される。「ウィズコロナ」における文化振興の工夫がなされることを期待したい。

11 指定文化財修復保存事業費助成事業

指定文化財修復保存事業についてもコロナウイルスの影響が大きいと推察される。「ウィズコロナ」における文化振興の工夫がなされることを期待したい。

12 社会体育振興事業

自宅でできるトレーニング・ストレッチ動画の制作などこの状況だからこそできることを実施していることはとても好感がもてる。このような資源は「ウィズコロナ」期においても活用していただきたい。

以上が、牧之原市教育委員会が実施している 12 事業を中心として、総合的な観点から点検した評価である。全体的に、どの事業も必要性が高く、一定程度の成果も示されており、今後も継続していくことが基本になるであろう。

ただ、今後は「ウィズコロナ時代」への対応の中で、事業の進め方等に変更

を迫られることも生じることが想定される。その中で、事業の質を維持・向上させるためには様々な知恵が必要になるだろう。そのためにも各課が実施している事業の成果を共有しながら、各課を横断的に取り組む事業を検討することも必要であると考えます。

## 8 評価を受けて

各事業に共通して、大きく二つのご指摘をいただきました。

一つめは、ウィズコロナ時代への対応です。令和二年度は、コロナウィルス感染症対策として、事業を中止又は縮小する対応をとったものが多くありました。今後は、事業を中止するばかりでなく、事業の特性に応じてオンラインの活用や、感染症対策を徹底した上での事業実施等、ICTと対面を併用しながら、事業の質の維持・向上を行ってまいります。

二つめは、課を横断して取り組む事業についてです。近年の社会変化に伴い、取り組まなければならないさまざまな課題があります。これらの課題を解決するためには、多様な他者と協働で取り組むことがさらに必要となると考えます。コミュニティ・スクールの実施や学校再編の検討については、令和元年度から教育委員会内の関係課が共に進めてきたところですが、今後は、教育委員会だけでなく、市長部局や関係外部団体等と連携・協働し、さまざまな課題に取り組んでまいります。

牧之原市教育長 橋本 勝

牧之原市教育委員会 自己点検・評価報告書（令和3年12月）

発行 牧之原市教育委員会  
〒421-0592 静岡県牧之原市相良275番地  
電話：(0548) 53-2642／FAX：(0548) 53-2657  
E-mail：kyoiku@city.makinohara.shizuoka.jp  
ホームページ：http://www.city.makinohara.shizuoka.jp